

かわさきアプリ（スマートフォンアプリ）を活用した情報発信の取組

1 行政側の課題

- 的確な情報発信ができていない
- 団体等からの情報発信要望に対応しきれていない
- 行政や民間の情報も含めた地域情報としての発信が少ない

2 情報発信に関する市民ニーズ

- 必要とする情報が、どこで入手するのかわからない
- 情報が多すぎて必要な情報が探せない
- 行政が発信する情報だけでなく地域の様々な情報も知りたい

3 背景

- スマートフォンやタブレットの普及
- 情報通信環境の充実と変化
- 利用者・目的・状況に応じた様々な情報発信手段が存在

スマホアプリを活用した情報発信の検討

- 麻生区で子育て情報発信の実証実験（H27.1月）
 - ・子どもの年齢に応じた情報を的確かつタイムリーに配信
 - ・授乳やオムツ替え施設など位置情報と連動した誘導
- 利用者の声
 - ・便利で継続して利用したい
 - ・イベント情報の入手機会が増えた
 - ・イベント参加や公園等のおでかけスポット利用が増加



4 スマートフォン及びアプリの特徴

- 常に携帯でき、いつでもインターネットに接続が可能
- 利用者が必要とする情報を必要なタイミングで的確に提供が可能
- 緊急情報などは自動で利用者に情報発信（プッシュ型配信）
- 位置情報と連動した誘導（目的地案内）が可能
- 様々なサービスやスマホ機能との連動が可能



5 かわさきアプリの目的と取組

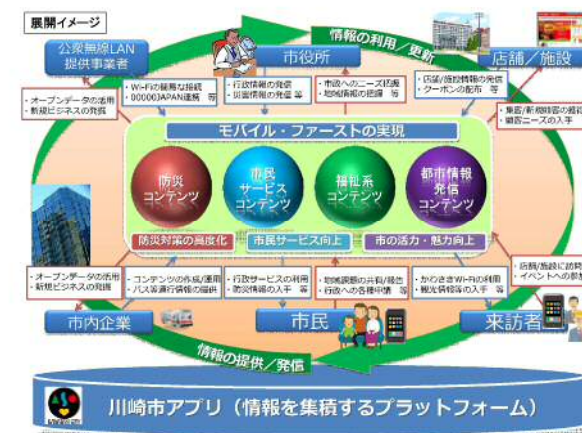
- 川崎市に関する情報が集積するプラットフォームとして位置づけ
- 多様な主体からの情報発信を可能とする仕組みを構築
- 利用者が必要な情報を必要なタイミングで的確に提供
- 市民・団体・事業者・行政が連携した新たなサービス提供

〔平成27年度開発〕・・・平成28年4月から運用開始予定

- ・ポータルアプリ
(アプリやWebサイトへのメニュー表示等)
- ・防災アプリ
- ・子育てアプリ

6 掲載内容及び情報発信手法

- 掲載内容は子ども及び親が参加できるイベント情報が中心
(広く地域の子育て中の方に参加いただきたいイベント)
- Web上で情報登録画面を提供(登録者のみにユーザIDとPWを付与)
- 広告掲載機能も搭載(広告掲載基準や運用手法は検討中)

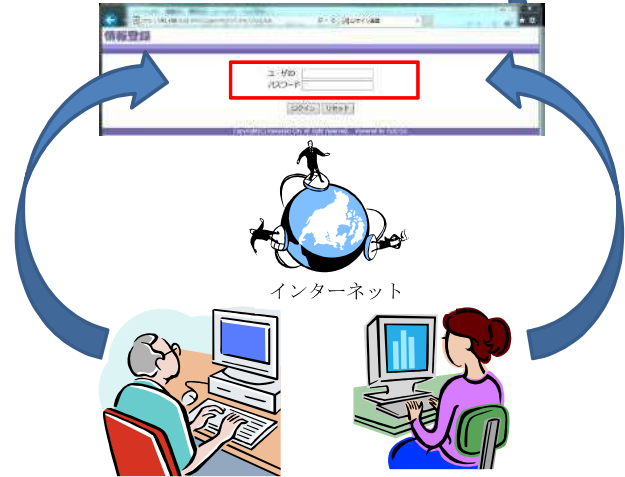


【かわさきアプリ開発業務担当部署】
川崎市総務局情報管理部 ICT推進課
電話：044(200)2079
e-mail：16ictsui@city.kawasaki.jp

イベント情報入力とアプリ掲載の流れ

(川崎市→情報掲載者)

- ◎情報登録用インターフェースを Web で提供
- ◎情報提供ユーザに関する情報は事前登録を行います。
- ◎ユーザID・パスワードを割当てます。



(情報登録について)

- ◎情報登録者と承認者の設定が可能です。
- (情報掲載の承認行為が可能です。)
- ◎承認後直ちにアプリに反映されます。
- ◎同一イベントで複数日開催も1回の情報入力でも OK です。
- ◎終了したイベント情報を修正して再登録が可能です。
- ◎承認者は公開中の情報の編集が可能です。
- ◎対応ブラウザ (IE9以上、Google Chrome 等)

(アプリのその他機能)

- ユーザ設定 (子どもの誕生年月や地域等) を登録すると設定条件にあった情報を絞り込みアプリに表示
- 様々な条件で情報の絞り込みが可能
- 地図との連動で目的地までの道案内が可能
- 検診・予防接種等の情報の掲載
- 医療機関情報の掲載
- 気になるイベント情報は、ユーザ画面に登録できます。

【イベント情報入力画面】

かわさきアプリ 子育て支援

イベント情報入力画面のスクリーンショット。イベント名、開催日時、場所、参加人数などの入力欄が並ぶ。下部には「保存」「承認依頼」「承認依頼して30秒後」などのボタンがある。

【アプリ画面：イベント】

子育てポータルアプリのイベント画面。イベント一覧、絞り込み、並び順（日時順、地点順）の切り替え、並び順：開催日時、イベント詳細（夏休みファミリー体験学習 in 鶴見川、ハバ&キッズ、HAPPYママライフ、子供映画大学、岡上里山探検隊）の表示がある。

【アプリ画面：イベント詳細】

子育てポータルアプリのイベント詳細画面。イベント名、開催日時、開催場所、対象、申し込み方法、主催、問い合わせなどの詳細情報が表示される。